

# はまふうどナビ

SEPTEMBER 2010

VOL.18

## とれたての旬の農産物を 味わえる催しがいっぱい!

### 11月は地産地消月間 横浜の秋の味覚を味わおう

11月は地産地消月間です!

市内各所で、農業まつりや直売、地場産野菜を活用した料理教室、農業体験、地産地消セミナー、フォーラムなど、盛りだくさんなイベントが開催されます。

### 「よこはま地産地消フォーラム 2010」開催 おいしい横浜の農 大発見!

～見て・聞いて・話して・買って・食べて うれしい～

日時：11月7日（日）10:00～16:00

会場：アートフォーラムあざみ野 男女共同参画センター横浜北

入場料：無料

問合せ：横浜市環境創造局農業振興課

TEL：045-671-2639

詳細は2ページをご覧ください。



### 同時開催

#### 濱の料理人“濱の鉄人”料理コンテスト

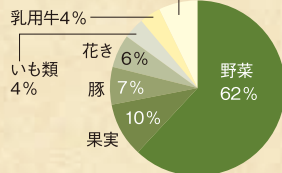
横浜野菜の小松菜を使ったアマ部門・プロ部門の料理の競演と表彰をします。詳細は5ページをご覧ください。

## 今、横浜の農業は…

横浜で「地産地消」といっても、市民のみなさんは「横浜のどこに農地があるの?」と首をかしげるかも知れません。ところが、実は横浜市は、全国でも例を見ない農地と住宅地が混在した都市なのです。西区を除いてすべての区に農地があり、これらは市域面積の約7.4%を占めています。野菜だけでなく、果樹に花きに畜産と、横浜の農業はバラエティに富んでおり、しかも生産額は神奈川県内でトップクラス!

収穫の秋です。あなたの食卓を新鮮で美味しい横浜の農産物で彩ってみませんか。

### 市内農業産出額の 部門別構成



### 横浜の農業力はスゴイ!

収穫量で  
全国10位内に  
入っている野菜が  
3つもあります!

野菜の種類	収穫量	県内順位	全国順位
小松菜	3700t	1位	2位
カリフラワー	504t	1位	8位
キャベツ	12862t	3位	10位
ほうれん草	4200t	1位	11位
枝豆	766t	1位	11位

### 環境創造局ホームページ 「横浜で地産地消」情報サイトへ

直売所等の市内産農産物が「買える」場所や飲食店等の「味わえる」場所、果物や野菜の「収穫体験」のできる場所、農業や地産地消に関する「イベント情報」など、情報が満載です!



<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyounousan/tisantisyo/>

「横浜で地産地消」で

- 市内の農地面積は…3231 ha (市域面積の7.4%)  
(平成20年1月1日固定資産税概要調査)
- 市内の農家戸数は…4423戸 (2005年農林業センサス)
- 市内の農業産出額…約101億円  
(平成18年神奈川県農林水産統計年報)



11月は地産地消月間です！

# よこはま地産地消フォーラム 2010

おいしい横浜の農大発見！ 見て・聞いて・話して・買って・食べて うれしい

地産地消月間イベント「よこはま地産地消フォーラム」。  
今年、はまふうどコンシェルジュ講座が始まって5周年を記念して  
「はまふうどコンシェルジュ企画」や地元ヨコハマの元気な農家のトークショー、  
農産物直売など盛りだくさん。ぜひご参加ください。

日時：11月7日（日）10：00～16：00  
会場：アートフォーラムあざみ野 男女共同参画センター横浜北  
アクセス：田園都市線・市営地下鉄線「あざみ野駅」から徒歩5分  
入場料：無料

## 内容

- ① “地産地消案内人  
はまふうどコンシェルジュ”  
展示・体験コーナー**  
旬の地場野菜の調理実演・レシピ提案、地産地消の取組紹介、  
地場野菜を使用した軽食の提供（有料）など
- ② 横浜の元気農家の  
トークライブ（要申し込み）**  
横浜の元気な農家が、都市ヨコハマで野菜や果物の栽培にか  
ける思いなどを語ります。小グループに分かれて、生産者か  
ら農産物の生産などの話を聞き、意見交換します。
- ③ とれたて野菜・果物、  
農産加工品の直売**  
よこはま・ゆめ・ファーマー（女性農業者）がとれたて新鮮・  
旬の野菜、果物、農産加工品を直売します。農家の技の披露  
と体験（有料）コーナーも予定。
- ④ 横浜の農業・地産地消紹介コーナー**  
横浜市で取り組んでいる様々な地産地消や農業に関する事  
業等をパネルなどで紹介します。



## 元気農家トークライブ参加者募集

トークライブの参加申込は、ホーム  
ページの専用申込フォーム（10月  
18日から受付開始）、または  
e-mailかFAXで、「地産地消フォー  
ラム：元気農家トークライブ参加希  
望」、名前、電話番号、e-mailアド  
レス、ご希望の時間帯（午前：10：  
00～12：00または午後13：30  
～15：30）を明記の上、農業振興  
課までお申し込みください。



定員：午前・午後各定員70名（先着順）定員に達し次第、受付終了  
申込期間：10月18日（月）～10月29日（金）必着  
申込先：横浜市環境創造局農業振興課「フォーラム担当」  
FAX：045-664-4425  
e-mail：ks-tisantisho-news@city.yokohama.jp

## 同時開催

濱の料理人  
“濱の鉄人”料理コンテスト開催

書類審査を経て選ばれた3品を試食審査して、  
1位～3位を決定します。1位入賞者には“濱  
の鉄人”の称号も与えられます。  
試食審査をする方を募集します。募集につい  
ては、下記をご確認ください。

試食審査員募集の詳細  
<http://www.hamanoryourinin.com>

フォーラム詳細、申込専用フォーム  
[http://www.city.yokohama.jp/  
me/kankyounousan/tisantisho/torikumi/  
event-forum.html](http://www.city.yokohama.jp/me/kankyounousan/tisantisho/torikumi/event-forum.html)  
（トークライブ申込受付は10月18日～）

問合せ先  
横浜市環境創造局農業振興課  
TEL 045-671-2639

# 直売所へ行こう！ 朝市特集

毎回、はまふうどナビで直売所の情報を掲載していますが、今回は横浜で開催されている朝市や青空市などを特集します。直売の野菜は「とれたて新鮮」「旬」「完熟」「生産者の顔が見え、安心」とイイことづくめ！ぜひ横浜のとれたて新鮮な野菜や果物であなたの食卓を彩ってください。

朝市は、売り切れ次第終了です。お早めにお出かけください。

## 都市部の朝市

### みなとみらい農家朝市

開港150周年を記念して始まったみなとみらいでの朝市も1年が経ちました。「とれたて新鮮完熟の横浜産の野菜と果物が買える」と大好評！横浜の元気な生産者が、市内産の新鮮野菜や果物、農産加工品などを販売します。



開催日：毎月第4日曜日 9:00～11:00 会場：高島中央公園 アクセス：みなとみらい線「新高島駅」から徒歩2分 主催：みなとみらい農家朝市出店者会 問合せ先：横浜市農業振興課 TEL 045-671-2639

### JA横浜 トレッサ朝市

JA横浜の協力のもと、地域の生産者の方が丹精込めて作った野菜の直売をトレッサ横浜で実施。フランスのマルシェ（市場）をイメージした直売所では、野菜の美味しい食べ方を生産者の方から聞くこともできます。新鮮で美味しい地元の野菜を、ぜひ召し上がってください。



開催日：9月11日（土）、10月2日（土）10:00～12:00（売切れ次第終了）  
会場：トレッサ横浜（港北区師岡町700番地）北棟2階リヨン広場  
アクセス：車をご利用の場合／環状2号線師岡町交差点側、バスをご利用の場合／市営地下鉄・JR「新横浜駅」より横浜市営バス「104系統」、臨港バス「鶴02系統」 主催・問合せ先：トレッサ横浜  
TEL 045-534-2220(代表) URL：http://www.tressa-yokohama.jp/

### ランドマークプラザの野菜市

横浜や三浦などの生産者がとれたての野菜を直売します。開催日：9月18日、19日、20日、23日、11月20日、21日、22日、23日 会場：ランドマークプラザ1F フェスティバルスクエア アクセス：市営地下鉄・JR「桜木町駅」から徒歩5分 主催：ランドマークプラザ 問合せ先：ランドマークプラザ TEL 045-222-5015



## 青空市

### 大熊にここ市

農家女性のグループ10人で季節の新鮮な野菜、果実（梅・柿・栗）、花、漬物等無添加の加工品などを販売しています。



開催日：毎週月、金（年末年始と祭日、お盆は休み）4月～9月は15:30～17:30、10月～3月は15:00～17:00 会場：都筑区大熊町401-1（大熊町つつじ公園前の駐車場の一角） アクセス：横浜市営地下鉄「新羽駅」から横浜市営バス41系統「大竹」下車すぐ 主催：大熊にここ市会 問合せ先：横浜市北部農政事務所 TEL 045-948-2482

### 田奈農協野菜部直売部会

昭和62年から続く直売市。開始前にはいつも行列ができるほど近隣住民に愛されています。



開催日：毎週火、金14:00～18:00（年末年始と祭日、お盆は休み） 会場：田奈農協長津田支所前 アクセス：JR・東急「長津田駅」南口からすぐ 主催：田奈農協 野菜部直売会 問合せ先：JA田奈 TEL 045-981-1819

### 東戸塚市民朝市

昭和56年から開催され、地元の人々に親しまれている「東戸塚市民朝市」です。



開催日：毎月1回第1日曜日（1月は休み）、4月～10月は6:30～8:00、11月～3月は7:00～8:00 会場：東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ駐車場  
アクセス：JR横須賀線「東戸塚駅」西口から徒歩2分 主催：東戸塚朝市出店者会 問合せ先：横浜市南部農政事務所 TEL 045-866-8493

### 横浜中部地区市民朝市

保土ヶ谷公園で地元農家の野菜をはじめ、果物、花などを即売しています。



開催日：毎月第1・第3日曜日（1月は休み）7:30～8:30、12月の第2回は12月23日天皇誕生日に開催します。 会場：県立保土ヶ谷公園内やすらぎ広場・ミニ運動公園 アクセス：相鉄線「星川駅」から市営バス「明神台」下車 主催：横浜中部地区市民朝市出店者会 問合せ先：横浜市北部農政事務所 TEL 045-948-2482

## 区役所の朝市

### 都筑野菜朝市

「都筑野菜」をはじめとした都筑区産の新鮮な農産物をより多くの人に食べてもらえるよう、区内の農家が朝市を開催。環境に配慮し、レジ袋は有料とさせていただきます。お越しの際にはマイバッグをお持ちください。



開催日：毎月第2・第4土曜日 9:30～12:00 会場：都筑区総合庁舎駐車場横通路 アクセス：市営地下鉄「センター南駅」から徒歩6分 主催・問合せ先：都筑区役所区政推進課企画調整係  
TEL：045-948-2225 FAX：045-948-2399

### わが町かながわ新鮮野菜市

地元農家、障がい者地域作業所と協力し、区庁舎内で行われている区内産野菜の販売。会場では旬の野菜レシピや、農家直伝の野菜知識が詰まった生産者新聞の配布も行っています。



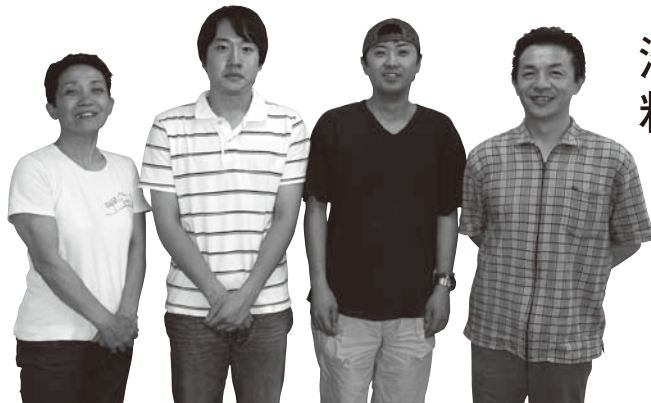
開催日：10月13日～1月5日の毎週水曜日10:30～12:15（売切れ次第終了）、11月3日、12月29日は休み 会場：神奈川区役所別館1階区民ホール アクセス：東急東横線「反町駅」、JR「東神奈川駅」、京急「仲木戸駅」から徒歩7分。市バス「二ツ谷町」バス停徒歩2分 問合せ先：神奈川区役所区政推進課 TEL 045-411-7028、神奈川区役所高齢・障害支援課 TEL 045-411-7114、神奈川区障害者地域作業所連絡会 TEL 045-434-3748



# はまふうど人 登場

vol.18

## 濱の料理人



埋橋真弓さん 昔宮賢典さん 柳孝さん 椿直樹さん

さまざまな立場から地産地消に取り組む方をご紹介します

### 「濱の料理人」プロジェクトが発足 横浜を全国に誇れる 地産地消推進都市に！

今年4月、横浜ロイヤルパークホテルにて「濱の料理人」プロジェクトの発足会が行われました。その名前の通り、市内の料理人が中心になった地産地消の新プロジェクトで、「横浜市を全国に誇れる地産地消の代表都市にする」ことを目標に掲げて活動を展開中。現在35名が名を連ね、キリンビール、横浜醤油、エバラ食品工業、JA横浜など、市内にある企業等もサポーターとして参加しています。

#### はまふうどコンシェルジュのメンバーによる 地産地消の新プロジェクトがスタート

市内のホテルや飲食店の料理人、農業従事者、流通事業者、管理栄養士、小学校の栄養職員など、さまざまな角度から横浜の地産地消に取り組む人々が集まり、「全国に誇れる地産地消都市・横浜」を目指すべく結成された「濱の料理人」プロジェクト。発起人である椿さんをはじめ、中心メンバーの多くは、はまふうどコンシェルジュの方々です。行政が中心となって行われる地産地消の推進活動が多い中で、民間の発意で食に関わるさまざまな業種の人たちが集まり、一緒に活動するプロジェクトは、全国的に見ても珍しいと言えるでしょう。

発起人の椿さんは、レストランで働く傍ら、横浜野菜推進委員会の代表として、これまで市内各所で地産地消の料理教室を行ってきました。そうした活動を続ける中で、濱の料理人の構想をあたためていたと言います。構想が実現するきっかけになったのは、昨年11月に行われた「よこはま地産地消フォーラム2009」。濱の料理人プロジェクトはそこから動き出しました。

「横浜野菜推進委員会を立ち上げた7年前から、料理人が横のつながりを持って地産地消に取り組めたら、という思いを持っていました。昨年の地産地消フォーラムのセミナーで、長年あたためていた構想を話して協力を呼びかけたところ、理念に賛同してくださる方が集まり、活動をスタートできることになったのです」(椿さん)。

横浜ロイヤルパークホテルで地産地消に取り組む総料理長の高橋明さん(本誌vol.14に登場)も椿さんの理念に共感し、濱の料理

人の相談役として参加することに。4月に行われた発足式では「地産地消を通して、横浜を全国に、世界にアピールできるように努めたい」と話していました。

プロジェクトの会長に抜擢されたのは、横浜国立大学3年生の昔宮さん(本誌vol.15に登場)。濱の料理人は、現役大学生が会長を務めていることでも話題を呼んでいます。



農林水産省の「地産地消の仕事人」にも認定されている椿さん

昔宮さんは、大学の地域交流科目の一環として、和田町商店街(保土ヶ谷区)で地場野菜を使った地域活性化を進めるなど、学生の立場からさまざまな地産地消活動を行っていますが、昨年のフォーラムで椿さんの思いに触れ、濱の料理人メンバー第1号となりました。

「自分自身、地産地消の活動をする中で横のつながりがほしいと思っていたので、椿さんの話を聞いて、すぐに参加を申し出ました。会長に任命されてプレッシャーではありますが、学生ならではの視点やフットワークの軽さを活かして貢献したいと思っています」と意気込みを語ってくれました。

#### 市内の農家や直売所を巡り 生産者の話を聞く視察会を実施

プロジェクト発足後の6月には、市内の代表的な野菜産地を見学する「生産現場視察」を行いました。訪れたのは、果菜類や手作り加工品が人気の自然館(泉区)や、コープかながわの地場野菜直売コーナーに出荷している菅田農園直売所(神奈川区)、こだわりの餌ではまこ卵を生産する前田養鶏(緑区)、中里農産物直売所「ハマッ子」など。市内各所の農家や直売所を巡り、生産者の方々から直接、話を聞く機会を持ちました。

「横浜の農家さんの野菜をもっと広めて、多くの方に食べてもらえるようにしたいのですが、生産現場を訪れるたびに、作る側と利用する側の協力が必要だと切実に感じます」(埋橋さん)

#### 流通ルートの確立が大きな課題

濱の料理人の今後の課題を尋ねたところ「地産地消の流通体制を確立させたい」という答えが返ってきました。地産地消を推進する上では、年間を通じた安定供給が困難、流通ルートが少なく入手が難しいといった問題が大きな壁



濱の料理人発足会の様子。右から埋橋さん、昔宮さん、椿さんと、横浜ロイヤルパークホテル総料理長の高橋さん(機軸タウンニュース社提供)



「学生の活動と違って、料理人の方や生産者、流通業などさまざまな立場の方の話が聞けるので、とても勉強になります」(菅宮さん)

になっていますが、濱の料理人ではそうした現状を踏まえ、プロジェクトのネットワークを活かして、流通ルートの確立に取り組みたいと考えています。「本来は、意欲のある料理人が自分の力で地場のいい素材

を見つけて仕入れるべきだと思うのですが、それだと地産地消が発展していかない。流通体制の確立はやはり我々がやるべきことだと思っています」(椿さん)。

「料理人、生産者や企業など、いろいろな立場の人から話が聞けるのが濱の料理人の強み。これからますますネットワークを広げて、地場の素材の流通ルートを構築したいですね」(柳さん)。



副会長を務める柳さん(右)と埋橋さん(左)。柳さんは市内ホテルのシェフ。埋橋さんは刃物研ぎの職人兼「食とからだの研究室」を主宰しています

11月には、濱の料理人の次なるイベントとして、横浜産食材を使ったプロ・アマ両部門での「濱の鉄人」料理コンテストが開催されます。これは「地産地消フォーラム2010」の一環と

して、フォーラム会場で行われる濱の料理人主催のイベント。地産地消に興味のある方、レシピ作りに自信のある方は、ぜひチャレンジしてみてください(コンテストの詳細は下記をご覧ください)。

「濱の料理人」の公式ウェブサイト  
http://www.hamanoryourinin.com/



## 地産地消を担う「はまふうどコンシェルジュ」とは…

横浜市は、地産地消や農業、食育等の活動に関わっているグループに所属している方、栄養士、企業で地産地消に取り組んでいる方などを対象として、地産地消の担い手を育成する「はまふうどコンシェルジュ講座」を毎年開催しています。平成22年度は「横浜の“農”と地産地消」、「農”を巡る」 「農”を味わう」 「農”を体験する」 「それぞれの地産地消を語る」と題して、講義、視察見学、体験、意見交換などを交えた講座を開催しました。現在153名の修了者がはまふうどコンシェルジュとして、学校や地域で地産地消の活動をしています。

地産地消月間では、はまふうどコンシェルジュの方々による農体験行事、地場野菜を美味しくいただく料理教室などが行われます。

“はまふうど”とは、横浜の「浜」に、「フード(食べ物)」と「風土」をあわせた言葉です。横浜の「食」「食卓」と「農地や農業、農産物」をつなぐことを意味しています。「はまふうどコンシェルジュ」とは、「はまふうど」(＝地産地消)を実践する方々を総称します。

# 第1回 濱の料理人“濱の鉄人”料理コンテスト開催

プロ部門とアマチュア部門に分け、各部門のテーマと条件に沿った地産地消の創作料理(ジャンルは問わず) レシピを募集します。

### □ テーマ

プロ部門：「店舗で提供できる地産地消メニュー」  
アマチュア部門：「小松菜を使用した料理」

### □ 条件

プロ部門：①原材料費は1人分500円まで②横浜産の食材を2種以上使用  
アマチュア部門：①エバラ食品の調味料を使用した小松菜の料理②ビールに合う小松菜の料理③お肉に合わせた小松菜の料理(いずれも原材料費は4人分で1000円程度)

### □ 応募方法

下記①～⑦の項目を記入の上、完成した料理の写真を貼ってご応募ください(写真の裏に、お料理名と作者名を必ずご記入ください)。

①ご住所、お名前、年齢、性別、電話番号、プロかアマか②料理名③アマチュア部門の方は①～③の応募条件を選ぶ④料理のおススメポイント⑤材料と分量⑥料理の完成写真⑦料理レシピ  
※応募書式は自由ですが、専用の応募用紙もあります。専用の応募用紙は「濱の料理人」ウェブサイト (<http://www.hamanoryourinin.com/>) からプリントアウトしてください。

□ 募集期間：9月1日(水)～9月24日(金)

### □ 応募資格

プロ部門…横浜市内在住、市内で飲食業に従事されている方。  
アマチュア部門…横浜市内在住、飲食業に従事されていない方。  
※11月7日(日)の審査会に参加可能な方に限らせていただきます。

### □ 選考について

プロ部門：書類選考を行い、選ばれた3品の応募者は11月7日(日)に行われるコンテストで調理。その作品を来場者が試食審査して、1位～3位を決定します。1位入賞者には“濱の鉄人”の称号が与えられます。  
アマチュア部門：書類審査で事前に1位～3位までを決定し、1位入賞者には“濱の鉄人”の称号が与えられます。

### □ 審査会ならびに表彰式

日時：2010年11月7日(日) 10:00～16:00  
会場：アートフォーラムあざみ野 男女共同参画センター横浜北  
※よこはま地産地消フォーラム会場にて実施します。  
「審査会」と「表彰式」は一般の方もご参加いただけます。

### □ 問合せ先・応募先 「濱の料理人」料理コンテスト事務局

住所：〒232-0017 横浜市内南区宿町2-40大和ビル209 株ゆとりっぶ気付 e-mail: [hamanoryourinin@gmail.com](mailto:hamanoryourinin@gmail.com)

主催/濱の料理人 後援/井上富蔵商店、エバラ食品、キリンビール、JA横浜、藤岡食品、藤代商店、横浜市環境創造局



# 横浜の“農”を体験しよう

## ふるさと村

良好な田園景観を有する農業振興地域の景観保全と地域の活性化を目的に「横浜ふるさと村」として指定し、生産基盤整備や研修施設などの設置、樹林の保全・活用など、市民が自然

と農業に親しむ場として整備しています。

詳細はこちらをチェック <http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/green/furusatomura/>

## 舞岡ふるさと村 虹の家

### ①干し柿づくり

日時：11月14日（日）  
14:00～15:30  
定員：20人 費用：1500円

### ②手作りウィンナー教室

日時：11月27日（土）  
13:30～15:30  
定員：24人 費用：1800円



### ①②とも

募集期間：10月1日～10月21日（必着）  
申込み方法：往復ハガキまたはウェブサイトにて。  
※参加は小学生以上。子供のみ参加は不可。  
アクセス：市営地下鉄「舞岡駅」から徒歩5分

申込み・問合せ先：舞岡ふるさと村虹の家 〒244-0813 戸塚区舞岡町2832番地  
TEL 045-826-0700  
FAX 045-826-0749  
URL：www1.c3-net.ne.jp/nijinoie

## 寺家ふるさと村 四季の家

### ①そば打ち教室

日時：11月27日（土）  
9:30～12:30  
定員：12人 費用：2500円  
申込み方法：10月1日から電話または直接窓口にて（先着順）

### ②味噌づくり教室

日時：11月5日（金）、11日（木）、12日（金）、18日（木）、19日（金）、28日（日）各日とも午前の部10:00～12:00、午後の部14:00～16:00  
定員：6人／1回  
費用：6500円  
申込み方法：住所、氏名、希望日、午前・午後の別、電話番号を明記の上、往復ハガキにて。参加希望日の14日前まで必着  
アクセス：東急田園都

市線「青葉台駅」から東急バス青30系統「四季の家」停留所下車徒歩1分。東急バス青31系統、「鴨志田団地」停留所下車徒歩3分。

申込み・問合せ先：寺家ふるさと村四季の家管理運営委員会  
〒227-0031 青葉区寺家町414  
TEL 045-962-7414  
FAX 045-962-6321  
URL：http://homepage3.nifty.com/jikehurusatomura/



## 恵みの里

「恵みの里」は、市民と“農”とのふれあいを通じて、地域ぐるみで農のあるまちづくりを進めるための、横浜市の農業振興施策。米や味噌づくり、市民農園等のさまざまな農体験の場を提供するほか、地域の農産物直売や農業イベント、レンゲなどによる田園景観づくりなどを行っています。ぜひ、みなさんも「恵

みの里」での農体験や地場農産物を食べることをとおして、地域に農業や農地があることのすばらしさを実感してください。

詳細はこちらをチェック  
<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/nousan/megumi>

## 新治恵みの里

### ①小麦作り教室

日時：11月28日（日）スタート  
9:30～12:00  
\*種まき～収穫、うどんづくりまで全7回（11月～翌年7月まで）  
場所：新治町内の畑  
費用：5000円



### ②新治谷戸田を守る会収穫祭

日時：11月20日（土）  
10:00～14:00  
場所：にいほる里山交流センター前広場  
費用：500円  
申込み方法：①11月11日（木）から受付開始。e-mailまたはFAXに住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号を明記し「にいほる里山交流センター」（TEL/FAX 045-931-4947、e-mail：info@niiharu.jp）へ申込み。②収穫祭は当日受付。  
アクセス：JR横浜線「十日市場駅」から徒歩15分  
問合せ先：北部農政事務所  
TEL 045-948-2481  
FAX 045-948-2488

## 都岡恵みの里

### 小麦・うどんづくり教室

日時：11月20日（土）  
9:30スタート  
\*種まきから収穫、うどんづくりまでの計6回（11月～翌年7月まで）  
場所：旭区下川井町の畑  
アクセス：相鉄線「三ツ境駅」から神奈中バス「程ヶ谷カントリークラブ前」下車、徒歩5分  
費用：1家族6000円  
申込み方法：ハガキまたはFAXで10月30日まで受付。申込み多数の場合は抽選

申込み・問合せ先：都岡地区恵みの里運営委員会事務局「小麦作り係」〒241-0031 旭区今宿西町289  
TEL：090-7733-8532  
FAX：045-955-5057



# 横浜の“農”を体験する・知る・買う

## 直売ネットスタンプラリー

横浜市内にある野菜や果物などの農産物直売所をポイントとしてスタンプラリーを実施。直売所での買い物を楽しみながらスタンプを集めると素敵な賞品がもらえます。採れたての農産物を求めて直売所めぐりに出かけてみませんか。

期間：11月1日（月）～12月31日（金）

会場：横浜市内直売所

\*参加直売所に置いてあるガイドブックまたはJA横浜のホームページに掲載している地図で探索してください。

問合せ先：JA横浜 営農部農業振興課 TEL045-805-6612

## 都筑区民まつり

区民まつりの会場で、安心で新鮮な都筑区産の農産物を販売します。

日時：11月3日（祝）10:00～15:00

会場：センター南駅前

アクセス：市営地下鉄「センター南駅」下車すぐ

主催・問合せ先：都筑区ふるさとづくり委員会事務局

TEL045-948-2231 FAX045-948-2239

## 農と緑のふれあい祭り

「みどりアップ」「農」「緑」に関連する各種イベントを同時開催。農産物等の即売や収穫体験、よこはま畜産まつり、フルーツフェスタ秋「秋季果樹持寄り品評会」なども行います。

日時：11月3日（祝）10:00～15:00

会場：環境活動支援センター、横浜市児童遊園地（保土ヶ谷区狩場町）

アクセス：JR「保土ヶ谷駅」から市営・神奈中バス「児童遊園地」下車、または、市営地下鉄「蒔田駅」「京急保土ヶ谷駅」から市営バス「児童遊園地前」下車すぐ

問合せ先：横浜市環境創造局環境活動支援センター

TEL 045-711-0635 FAX 045-721-6356

URL: <http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/nousan/shiencenter/>

## とれたてみどり～緑区直売所マップ～ 地場野菜直売会

緑区内や周辺の直売所情報を集約した「とれたてみどり～緑区直売所マップ～」のPRイベントとして、地元農家の野菜の直売会を行います。

日時：11月5日（金）9:00～12:00

会場：緑区役所

アクセス：JR・地下鉄グリーンライン「中山駅」下車徒歩5分

主催・問合せ先：緑区政推進課 企画調整係

TEL 045-930-2227 FAX 045-930-2209

## きた地区JAまつり

毎年盛大に行われる「きた地区JAまつり」では、農産物直売、模擬店や餅つきなどのイベントを数多く用意しておりますので、お誘い合わせのうえお越しください。

期間：11月20日（土）9:00～16:00、21日（日）9:00～15:00

場所：JA横浜きた総合センター

アクセス：横浜市営地下鉄「センター南駅」「道中坂下」、港北・中里・新治支店から無料貸切バス運行。横浜市営地下鉄「仲町台駅」から定期路線バス（301系統）「向原バス停」から徒歩5分

問合せ先：JA横浜 組織相談部組織農政課 TEL 045-942-2312

\*はまふうどコンシェルジュの詳細は5ページを参照

## Foodで風土フェア

仲町台駅から農業専用地区に広がる畑を歩きながら野菜を収穫する収穫体験ウォーク、地産地消料理教室のほか、女優の浜美枝さんのトークイベントなどを予定。詳細はJA横浜のホームページ等でお知らせします。

日時：11月27日（土）9:30～13:00

会場：都筑区折本・東方農専内畑、JA横浜きた総合センター

アクセス：横浜市営地下鉄「仲町台駅」からスタート

問合せ先：JA横浜 営農部農業振興課 TEL 045-805-6612

## 男の料理教室 \*はまふうどコンシェルジュ企画

保土ヶ谷の生産者から野菜づくりの話聞き、生産者が育てた野菜を使った料理を作ります。

日時：11月28日（日）10:00～13:00

会場：男女共同参画センター横浜

アクセス：JR・市営地下鉄から「戸塚駅」徒歩5分

内容：費用：3000円 定員：20名

申込み方法：電話またはe-mailで、横浜野菜推進委員会にお申し込みください。

持ち物：タオル、バンダナ、エプロン、筆記用具

主催・問合せ先：横浜野菜推進委員会（椿直樹）

TEL090-8434-3282 e-mail: yokohama\_yasai@hotmail.com

## マザーズマルシェ \*はまふうどコンシェルジュ企画

地場野菜販売と、地場産物を使った自家製スイーツやがんもなどの加工品販売。

日時：11月28日（日）10:00～17:00

会場：マザーズ藤が丘店（青葉区藤が丘2-5-22）

アクセス：田園都市線「藤が丘駅」下車すぐ

主催・問合せ先：マザーズ藤が丘店（担当：小池）

TEL080-3426-4537 FAX045-975-0682

## 野菜とともにだちキッズレンジャー \*はまふうどコンシェルジュ企画

みかん狩りと、とれたて野菜のバーベキュー

日時：11月27日（土）10:30～13:30

会場：ユアーズガーデン（戸塚区名瀬町）

アクセス：JR「東戸塚駅」、相鉄線「緑園都市駅」から、神奈中バスで10分「中村」下車徒歩1分

対象：幼稚園児と小学生を含む親子

費用：大人2500円、子ども2000円

定員：親子で30名（子どもだけの参加は不可）

申込み方法：往復ハガキに「行事名、住所、氏名、学年、電話番号、保護者氏名」を明記の上、10月25日～11月10日までにお申し込みください。応募多数の場合は抽選になります。

申込み先：はまふうど食育の会 門倉さん

〒245-0051 戸塚区名瀬町1752

問合せ先：はまふうど食育の会 門倉さん

TEL 090-7410-1384

## 秋の味覚 みかん狩り

海に見える丘の上で、みかん狩りを楽しんでください。

日時：10月～12月下旬（収穫終了まで）9:00～16:00、

（12:00～13:00は昼休み、受付15:00まで）、月曜休園

場所：金沢区柴農業専用地区

アクセス：シーサイドライン線「海の公園柴口駅」から徒歩15分

参加費：大人700円、3歳～未就学350円、3歳未満無料。園内食べ放題とみかんのおみやげ付き

問合せ先：JA横浜 柴農園管理事務所

TEL045-785-6844 FAX045-788-8588



# 横浜の農産物を味わう ～よこはま地産地消サポート店～

横浜市では、地産地消を進めるために、市内産の農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店等を募集し、「よこはま地産地消サポート店」として登録しています（平成22年8月末43店登録）。ぜひ、よこはま地産地消サポート店に登録してあるお店で市内産農畜産物を味わってください。

## 地産地消月間の特別企画

### ミクニヨコハマ 「秋の地産地消」

横浜産を中心とした野菜や横濱ビーフ、横浜中央卸売市場から届く新鮮な魚を使ったメニューを提供します。

横濱ビーフのグリエ、山葵とクレソンのソースで



期間：11月4日（木）～11月26日（金） 11:30～15:00、17:30～22:00  
アクセス：JR「横浜駅東口」から徒歩3分 問合せ先：TEL 045-442-0430



### 和ダイニング 檜 「地産地消フェア」

11月のおススメとして、はまぼくや地場野菜などを使った料理を1か月間提供します。

趣向を凝らした店内のインテリア

期間：11月1日（月）～11月30日（火） 17:00～24:00  
アクセス：JR市営地下鉄「戸塚駅」より徒歩3分  
問合せ先：TEL 045-865-0123 FAX045-861-0123

### ピザハウスモッコ センター北店 「秋の美食パスタ マンズリー」

横浜の地場野菜をふんだんに使用して、秋の美食をアンティパストやパスタでお召し上がりいただけます。



オープンテラスの席もある

期間：11月1日（月）～11月29日（月） 11:30～14:30、17:00～22:00  
アクセス：市営地下鉄「センター北」から徒歩2分  
問合せ先：TEL 045-911-5779 FAX045-911-5779

### フランス料理 HANZOYA

#### 「地元横浜の農家さんが作った野菜で贅沢ランチ」

地元横浜で頑張る農家さんが丹精込めて作ったこだわり野菜やフルーツを厳選した、ランチタイムのコースです。



こだわり素材のフレンチ

期間：11月3日（水）～11月28日（日）  
11:30～14:00 定休日：月・火  
アクセス：JR・市営地下鉄「新横浜駅」から徒歩7分  
問合せ先：TEL 045-471-8989  
FAX045-471-2214

### 居酒屋 スタミナ田奈 「季節の地場野菜を味わうフェア」

野菜本来の味を活かした料理を提供します。



はまぼく使用の田奈うどん

期間：11月1日（月）～11月30日（火） 17:00～23:00  
アクセス：東急田園都市線「田奈駅」から徒歩1分  
問合せ先：TEL 045-983-4573

### れすとらん さいとう 「美味しすぎる横浜野菜のスペシャルランチ！」



いろいろな夏の横浜野菜のバレットサラダ シェリー酒酢ドレッシングで

新鮮な地場野菜の美味しさを最大限に活かしたランチメニューを提供。コース料理のすべてに地場食材を入れる予定。

期間：11月上旬～11月中旬  
アクセス：JR横浜線・東急東横線「菊名駅」東口から徒歩5分  
問合せ先：TEL・FAX 045-434-1761

### ナチュラル・ポーロ 「秋の地産地消フェア」

横浜野菜のバーニャカウダやピッツァ、はまぼく、地卵を使ったドルチェなど、地産地消メニューが盛りだくさん！



人気の「横浜野菜のバーニャカウダ」

期間：11月1日（月）～11月29日（月） 11:30～22:00  
アクセス：田園都市線「藤が丘駅」から徒歩1分  
問合せ先：TEL045-978-0355 FAX045-978-0356

## よこはま地産地消 サポート店登録店リスト

「よこはま地産地消サポート店」で検索

よこはま地産地消サポート店  検索

<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyounousan/tisantisyao/ajiwau/list.html>

## よこはま地産地消 サポート店について

- ①よこはま地産地消サポート店の対象  
市内にある食品衛生法の飲食店営業等の必要な許可を受けている料理店、一般食堂、レストラン、仕出し屋、総菜屋、弁当屋、農産加工業者。
- ②登録の要件  
所在地が市内にあり、横浜市の地産地消の趣旨に賛同し、市内産農畜産物を活用していること、推薦者（生産者、出荷組合、農協、市場、仲卸業者）の推薦書の提出があること、市内産農畜産物を活用していることを店頭やメニューに表示していること。
- ③サポート店の役割  
市内産農畜産物を積極的に活用し、市民に良さを紹介し、地産地消の推進に努めます。
- ④登録の手続き  
申請書類は、ホームページ（「よこはま地産地消サポート店」で検索）からダウンロードできます。
- ⑤登録店への支援策  
横浜市のホームページ「横浜で地産地消情報サイト」、「はまふうどナビ」等の情報紙に掲載してPRします。